

病を未然に防ぐプロが地域に開く窓

⑩ 高戸橋クリニック (東京都新宿区)



エントランス待合。幹線道路がすぐそばを走るとは思えない静寂

「学校・企業・官公庁における健康診断、集団健診、巡回健診など、各種検査のスペシャリスト集団」——そんなキャッチフレーズの下、医療法人財団綜友会は予防医学を中心に展開している。高戸橋クリニックは集団健診・巡回健診を受けられなかったり、二次検査や精密検査が必要だったりする受診者を日々迎えている。一方で住民のために診療も行い、地域に貢献してきた。

〈地域に根差した掛かりつけ医〉〈街の頼れるお医者さん〉。クリニックが掲げるコンセプトは平易だが、体現するのはなかなか難しい。

クリニックの所在地には戦前から病院があった。その後、跡地にマンションが建つ。1階にはクリニックが入った。綜友会は高田馬場駅前ですさなクリニックを運営していたが、縁あって移転。新たに高戸橋クリニックとして生まれ変わった。

「小ぢんまりはしていますが、お待たせしないで検査が受けられる。迅速さはメリットではないかと思っています」(鈴木武夫理事長)

健診の受診者は東京23区内を中心に遠くは多摩地区や横浜市からも訪れる。戸塚警察署の真ん前でもあり、初めての人も分かりやすい立地だ。



玄関。ランドマークもあり、アクセスしやすい立地



診察室。検査のデータがすぐに見られるシステム



検査室。安心感を与える内装



X線室。分かりやすい結果報告とアフターフォローを心掛ける



マンモグラフィ室。婦人科検診も充実



待合室の廊下に掛けられた絵。優しく患者を見守る

「多種多様な健診を受けられる施設。それにしてはコンパクトにできている」(同前)

院内は機能性を重視したしつらえ。明るい木目と緑色を基調とした温かみのあるデザイン。緑は綜友会のイメージカラーでもある。受付に来た時点で来院する全ての人に安心感を与えている。

「予防医学」に軸足を置いて約20年。最近でこそ国も力を入れているが、当時はそれほどよく聞く言葉ではなかった。かつて放った嚆矢はめぐりめぐって今また地域に深く突き刺さっている。

「健診を柱とする以上、個人情報の管理は非常

に重要な課題です。ISO14001と9001を取得したり、プライバシーマーク(Pマーク)認定を受けたりしたのも、取り組みの一環。現在34万人のデータを取り扱っています。これだけの数を間違いなく執り行うのは並大抵のことではありません」(同前)

「究極的には信頼を得られるかどうか」——健診業務を主とする医療機関の使命を尋ねると、こんな答えが返ってきた。言うはやすく、行うは難し。地道な作業の積み重ねがものを言う世界だ。

病気を未然に防ぐため、目を凝らし、耳を澄ます。そんなプロたちがここにはいつもいる。